

2011年3月期 決算説明会

KITO

For the Global Next Stage

株式会社キトー (東証1部:6409)

<http://www.kito.co.jp/>

2011年3月期(2010年度) 決算報告

2012年3月期(2011年度) 業績予想

中期経営計画(2011年度～2015年度)

2011年3月期 業績（総括）

- 事業環境が改善：国内以外はリーマンショック前の水準に回復。2011年3月期は増収増益を達成
- 海外事業が堅調に推移
 - 北米：全般的な需要改善が進み、比較的好調に推移
 - 中国：引き続き好調に推移。今後の増産体制を構築
 - アジア：旺盛な需要に支えられ好調。タイでは大型クレーンをはじめとして現地進出メーカーからの受注が増加
 - インド：現地クレーン製造メーカーArmsel社を買収。本格的な事業展開をスタート
- KONECRANES社との業務・資本提携の一環として、MHSコネクレーンズ社よりホイスト事業を承継。ロープホイスト市場へ本格的に参入
- 震災による被害は軽微。電力不足下での安定生産に向けた各取り組みに着手

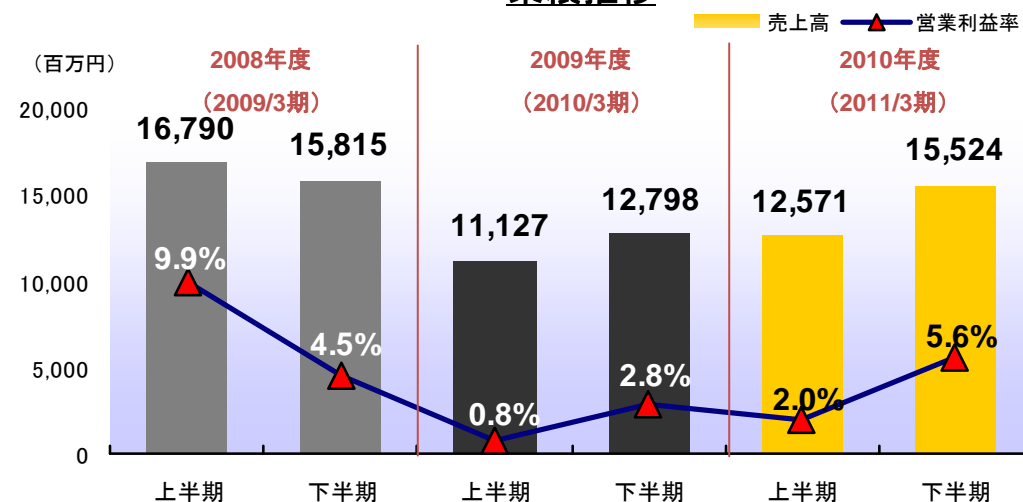
2011年3月期 決算ハイライト

(単位：百万円)	2010/3期			2011/3期		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	23,925	100.0%	△26.6%	28,095	100.0%	17.4%
営業利益	437	1.8%	△81.5%	1,119	4.0%	155.8%
経常利益	471	2.0%	△76.9%	885	3.2%	87.6%
当期純利益	122	0.5%	△89.7%	423	1.5%	245.2%
EPS	911.72円	-	-	3,470.30円	-	-
設備投資額	733	-	-	1,021	-	-
減価償却費	1,108	-	-	1,013	-	-

注 為替レート(2010/3期→2011/3期) : USD 92.8円→85.7円 CAD 85.1円→84.2円 EUR 131.1円→113.1円 RMB 13.7円→12.9円

業績推移

- 下半期においても、中国・北米をはじめとする海外市場向けの製品出荷が堅調に推移し、売上高は前期比プラス17.4%の増収。
- 円高による為替の影響はあったが、売上の伸長および経費削減により増益を達成。

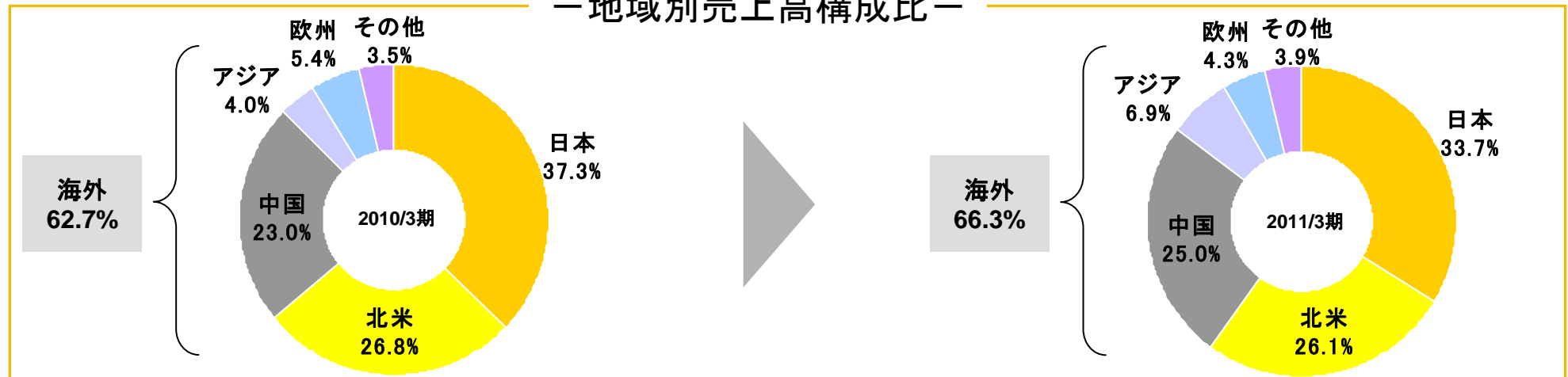


地域別売上高

(単位:百万円)	2010/3期		2011/3期		前年同期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
連結売上高	23,925	100.0%	28,095	100.0%	4,170	17.4%
日本	8,916	37.3%	9,479	33.7%	563	6.3%
北米	6,414	26.8%	7,342	26.1%	929	14.5%
中国	5,510	23.0%	7,023	25.0%	1,513	27.5%
アジア	952	4.0%	1,928	6.9%	975	102.5%
欧州	1,284	5.4%	1,212	4.3%	△72	△5.6%
その他地域	849	3.5%	1,108	3.9%	259	30.6%

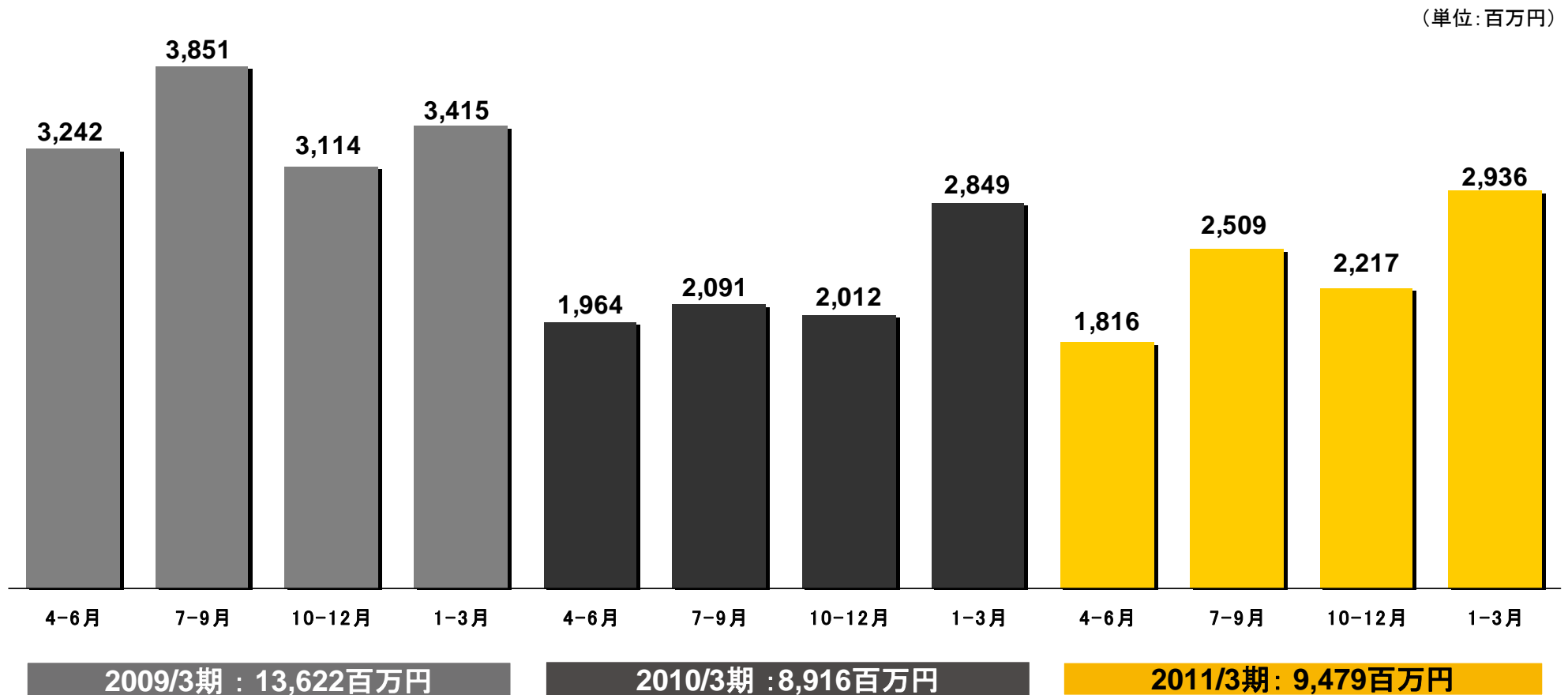
注 為替レート(2010/3期→2011/3期) : USD 92.8円→85.7円 CAD 85.1円→84.2円 EUR 131.1円→113.1円 RMB 13.7円→12.9円

—地域別売上高構成比—



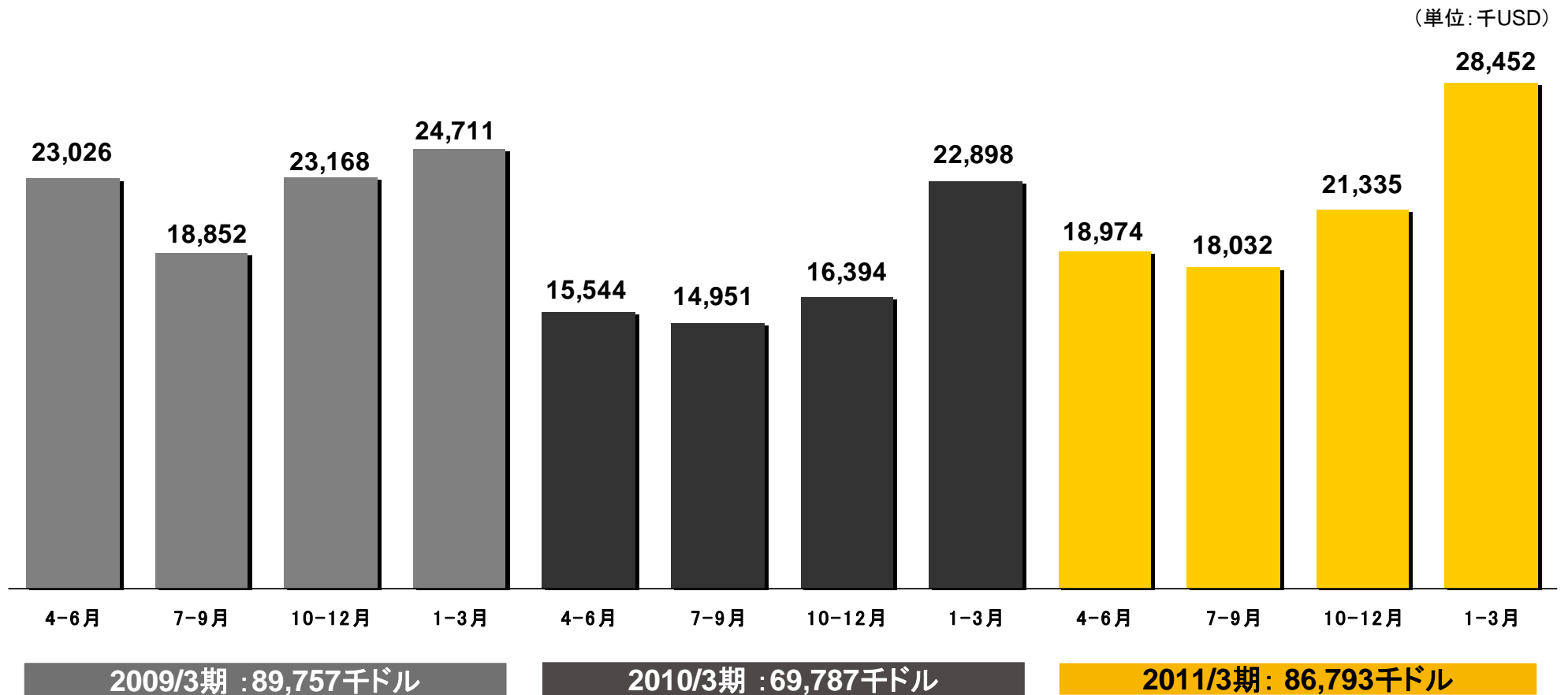
地域別売上高（日本）

- 自動車・半導体産業等の操業度改善に伴う需要が増加
- 建設土木向けの需要は依然として低迷
- 結果、前期比6.3%の増収



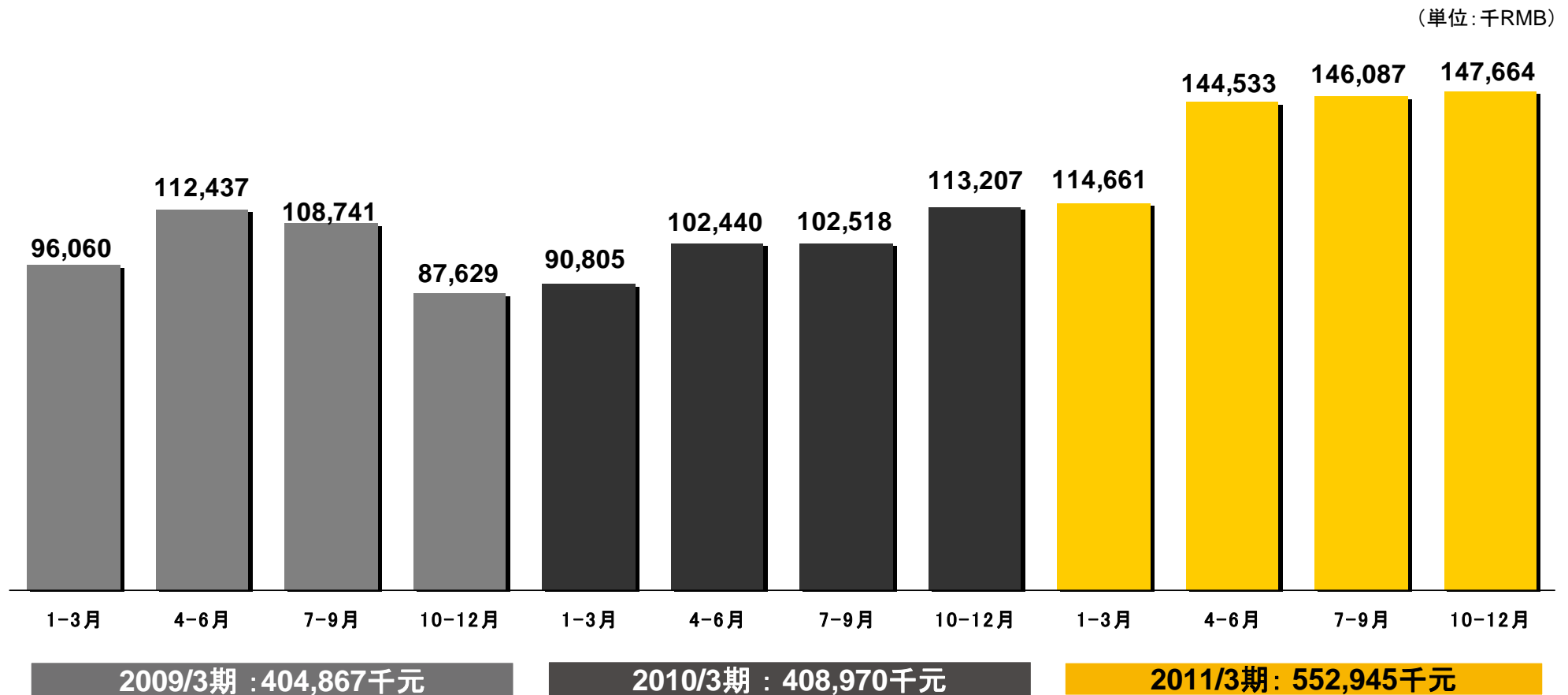
地域別売上高（北米）

- 全般的な需要改善の動きに支えられ、年間を通して比較的好調に推移
- カナダは、天然資源関連の需要が堅調であり増収更新中
- 現地通貨ベースでは前期比24.4%の増収



地域別売上高（中国）

- 旺盛な設備投資需要を受けて引き続き堅調に推移
- 売上・利益共に過去最高値を更新中
- 現地通貨ベースでは前期比35.2%の増収

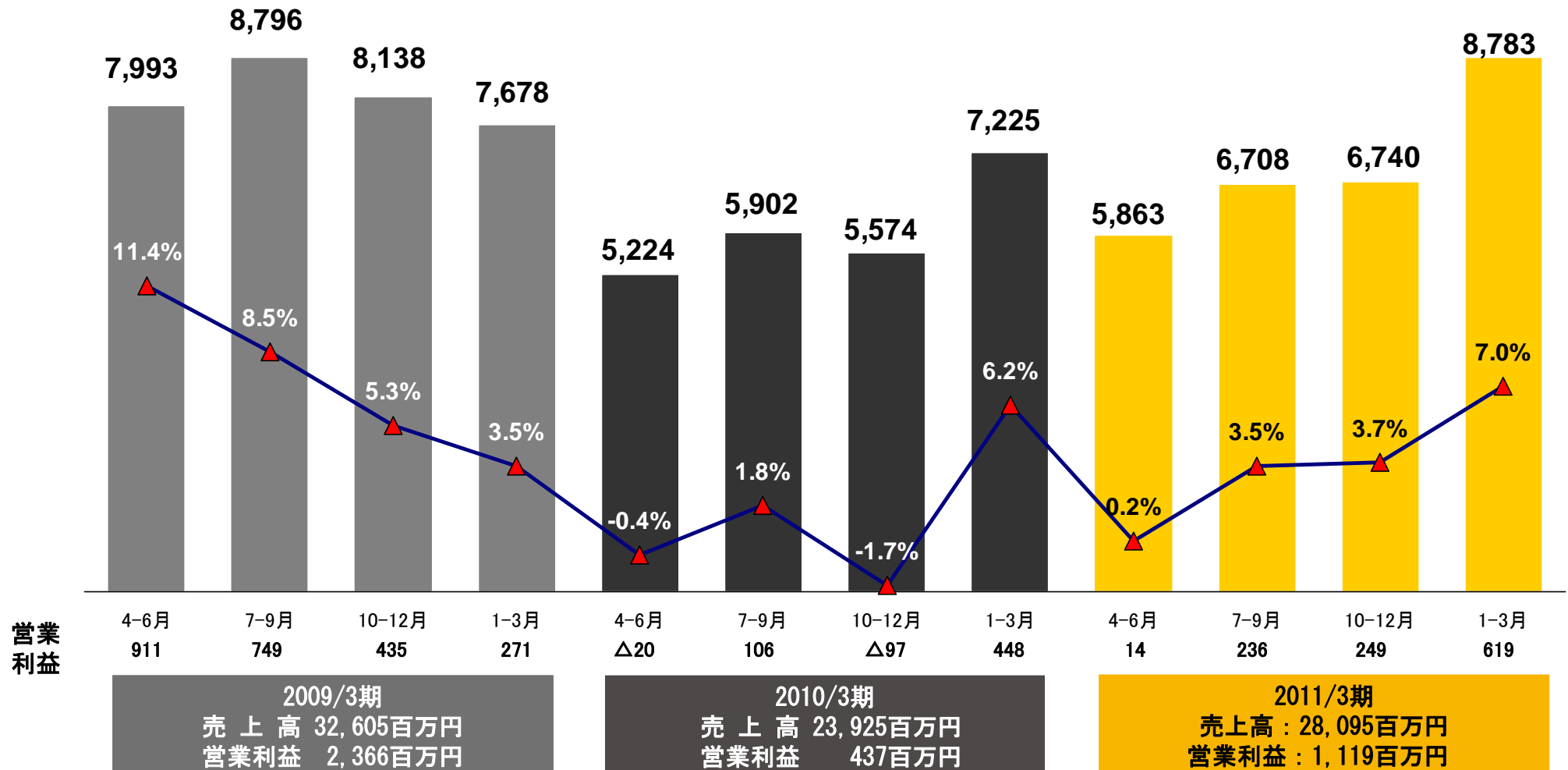


売上高および営業利益率 四半期比較

四半期毎の売上高・営業利益・営業利益率推移

■ 売上高 ▲ 営業利益率

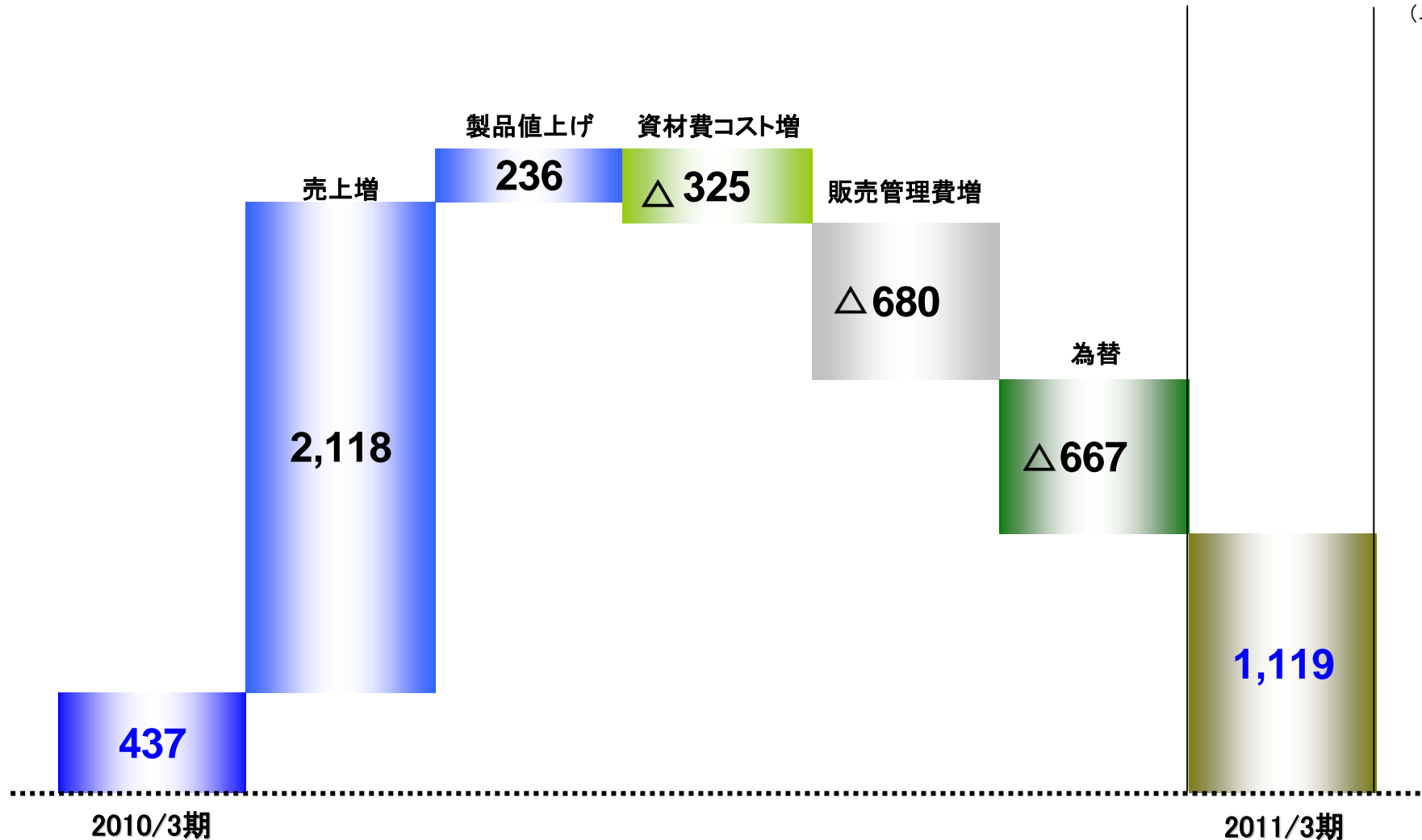
(単位: 百万円)



営業利益の比較

営業利益：前期比+682百万円となった主な要因

(単位：百万円)

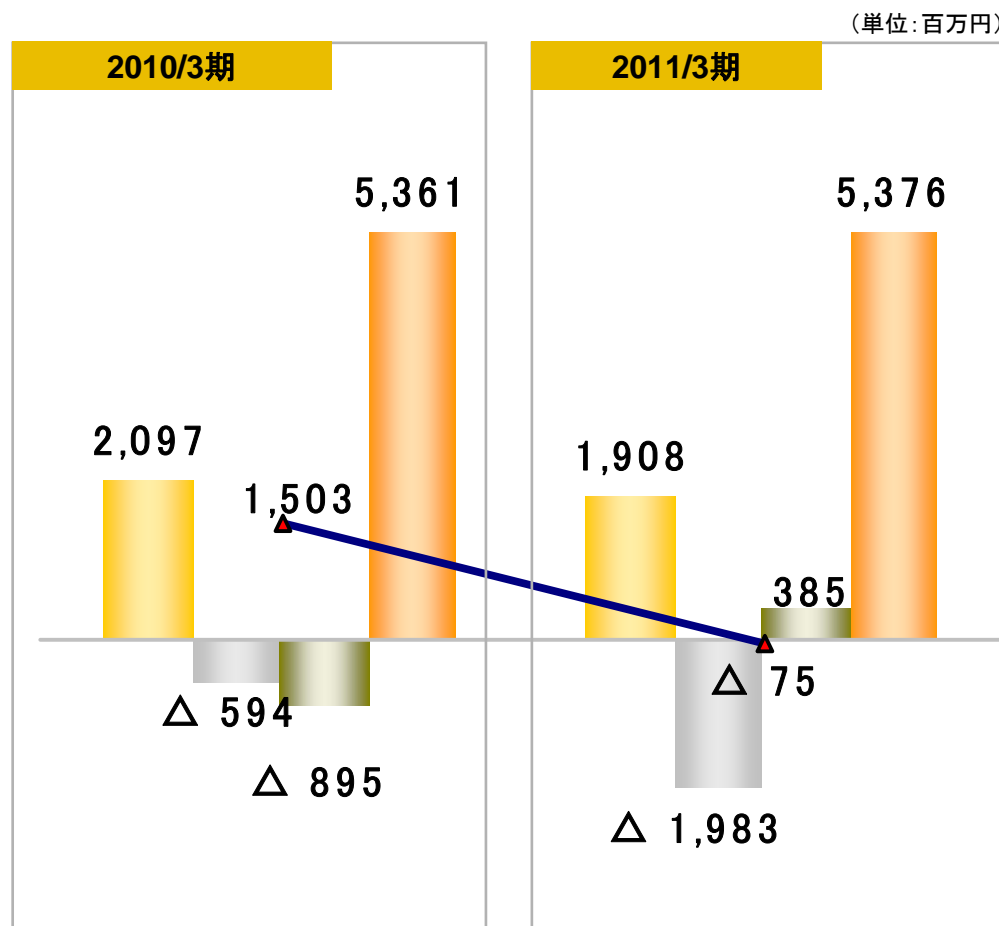


2011年3月期 連結貸借対照表

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2010/3期	2011/3期	増減額
流動資産	16,652	18,369	1,717
現金・預金	5,361	5,393	32
受取手形及び売掛金	4,568	5,510	942
たな卸資産	5,648	6,409	761
その他	1,073	1,054	△19
固定資産	9,034	9,755	721
有形固定資産	7,024	6,799	△225
無形固定資産	665	1,047	382
投資その他資産	1,345	1,908	563
繰延資産	13	27	14
資産合計	25,700	28,151	2,451

	2010/3期	2011/3期	増減額
流動負債	6,916	8,169	1,253
支払手形及び買掛金	3,385	5,109	1,724
短期借入金	1,257	281	△976
1年内償還予定社債	300	300	0
1年内返済予定長期借入金	-	120	120
その他	1,971	2,355	384
固定負債	2,998	4,275	1,277
社債	900	1,600	700
長期借入金	-	420	420
その他	2,098	2,253	155
純資産合計	15,786	15,706	△80
負債純資産合計	25,700	28,151	2,451

2011年3月期 連結キャッシュフロー



- 営業CF
- 投資CF
- 財務CF
- 現金及び現金同等物期末残高
- ▲ フリーCF

<2011/3期 実績>

【営業活動によるCFの主な項目】1,908百万円

税引前当期純利益	934百万円
減価償却費	1,013百万円
売上債権増	△975百万円
たな卸資産増	△757百万円
仕入債務増	1,811百万円

【投資活動によるCFの主な項目】△1,983百万円

有形固定資産の取得	△846百万円
事業譲受による支出	△317百万円
連結範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出	△615百万円

【財務活動によるCFの主な項目】385百万円

短期借入による収入	726百万円
短期借入返済による支出	△1,733百万円
長期借入による収入	600百万円
長期借入返済による支出	△84百万円
社債発行による収入	1,000百万円
社債償還による支出	△300百万円

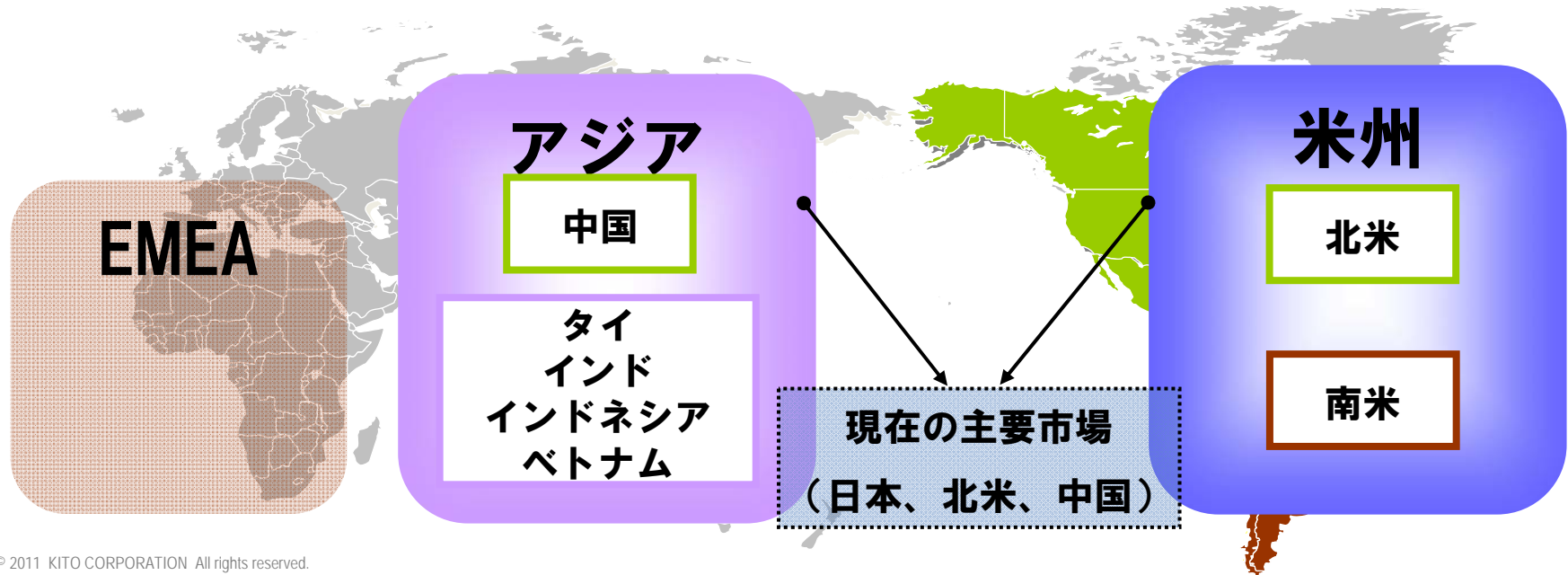
2011年3月期(2010年度) 決算報告

2012年3月期(2011年度) 業績予想

中期経営計画(2011年度～2015年度)

グローバル展開の推進

日本	電力不足下での安定生産体制を構築し、震災復興に係る需要の増加に対応
北米・中国	当面の成長牽引市場として事業拡大。 中国江陰工場の生産能力を増強(ロープホイスト生産能力:前期比20%増の計画)
アジア	タイ:大型クレーンをはじめ、急速に拡大している現地需要の取り込み インド:M&Aも活用しつつ、現地市場の開拓・拡大に注力 インドネシア:現地法人設立(2012年1月営業開始)
新規開拓市場	今後の本格参入に向けて活動中 ブラジル:現地法人設立(2011年9月営業開始)



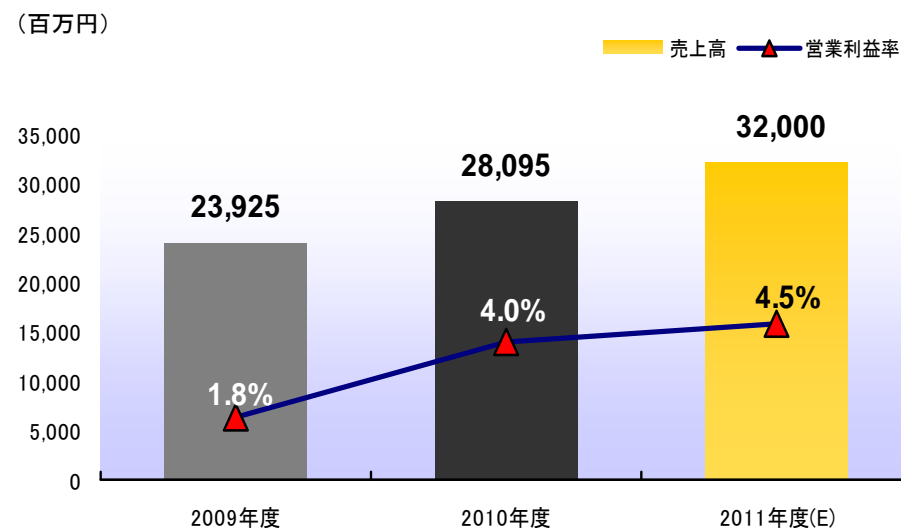
2012年3月期 業績予想

(単位：百万円)	2011/3期			2012/3期		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	28,095	100.0%	17.4%	32,000	100.0%	13.9%
営業利益	1,119	4.0%	155.8%	1,450	4.5%	29.5%
経常利益	885	3.2%	87.6%	1,350	4.2%	52.5%
当期純利益	423	1.5%	245.2%	700	2.2%	65.3%
設備投資額	1,021	-	-	1,600	-	-
減価償却費	1,013	-	-	1,200	-	-

注 為替レート(2011/3期→2012/3期E) : USD 85.7円→82.0円 CAD 84.2円→85.0円 EUR 113.1円→115.0円 RMB 12.9円→13.0円

- 国内は電力不足に際しても安定した製品供給体制を構築し、震災復興に向けた需要の増加に対応
- 中国は江陰工場の増産体制の本格稼働へ→中国国内拡販とRHのグローバル供給
- アジア全域において現地市場での販売拡大を図る

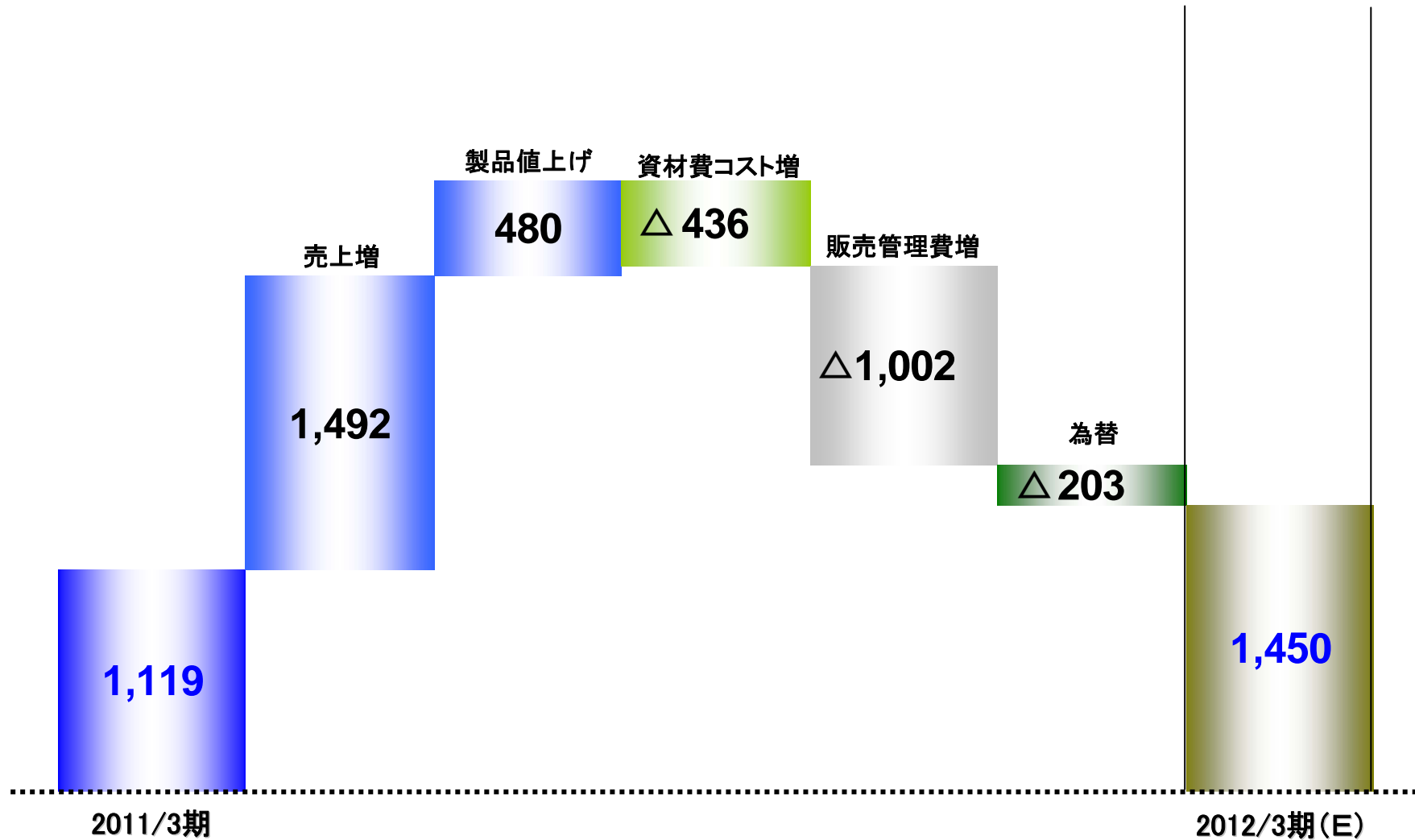
業績推移



営業利益の比較

営業利益：前期比+331百万円の主な要因

(単位：百万円)

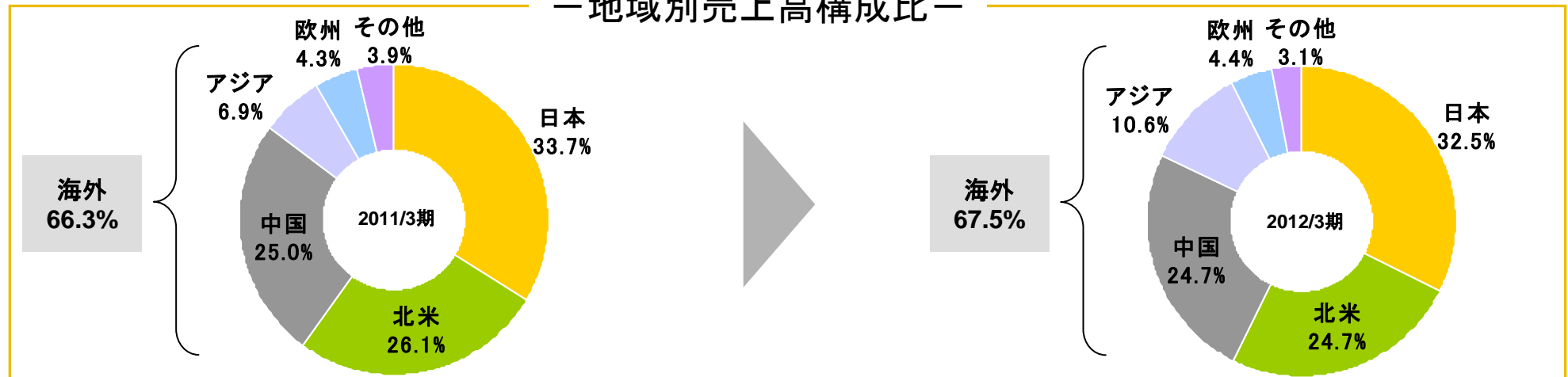


地域別売上高の予想

(単位:百万円)	2011/3期		2012/3期		前年同期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
連結売上高	28,095	100.0%	32,000	100.0%	3,905	13.9%
日本	9,479	33.7%	10,400	32.5%	920	9.7%
北米	7,342	26.1%	7,900	24.7%	557	7.6%
中国	7,023	25.0%	7,900	24.7%	876	12.5%
アジア	1,928	6.9%	3,400	10.6%	1,471	76.3%
欧州	1,212	4.3%	1,400	4.4%	187	15.5%
その他地域	1,108	3.9%	1,000	3.1%	△108	△9.8%

注 為替レート(2011/3期→2012/3期E) : USD 85.7円→82.0円 CAD 84.2円→85.0円 EUR 113.1円→115.0円 RMB 12.9円→13.0円

—地域別売上高構成比—



株主還元方針

基準日	1株当たり配当金			配当性向
	中間期末	期末	年間合計	
2010/3期 実績	1,000円	1,000円	2,000円	219.6%
2011/3期 実績	1,000円	1,000円	2,000円	57.6%
2012/3期 予想	1,000円	1,000円	2,000円	36.8%

2011年3月期(2010年度) 決算報告

2012年3月期(2011年度) 業績予想

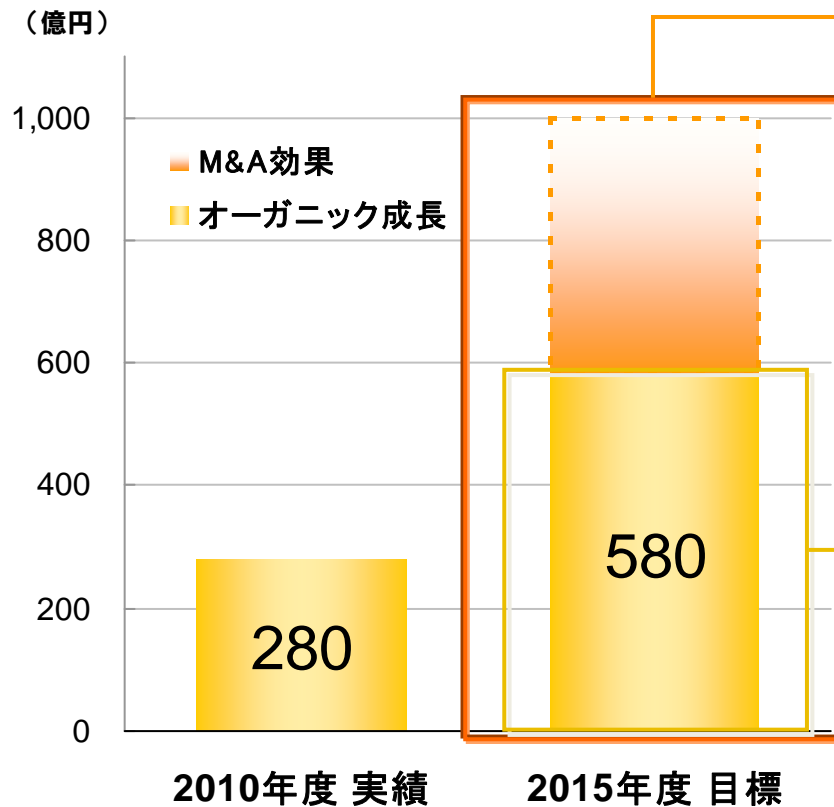
中期経営計画(2011年度～2015年度)

中期経営目標(2011-2015)

中期目標

- 日本企業から真のグローバル企業へ
- グローバル売上1000億円企業となる

売上見込および目標



グローバル売上1,000億円企業となる

オーガニック成長の売上580億円に加え、積極的なM&Aによるさらなる拡大を進め、売上1000億円を超える企業となる

日本企業から真のグローバル企業へ

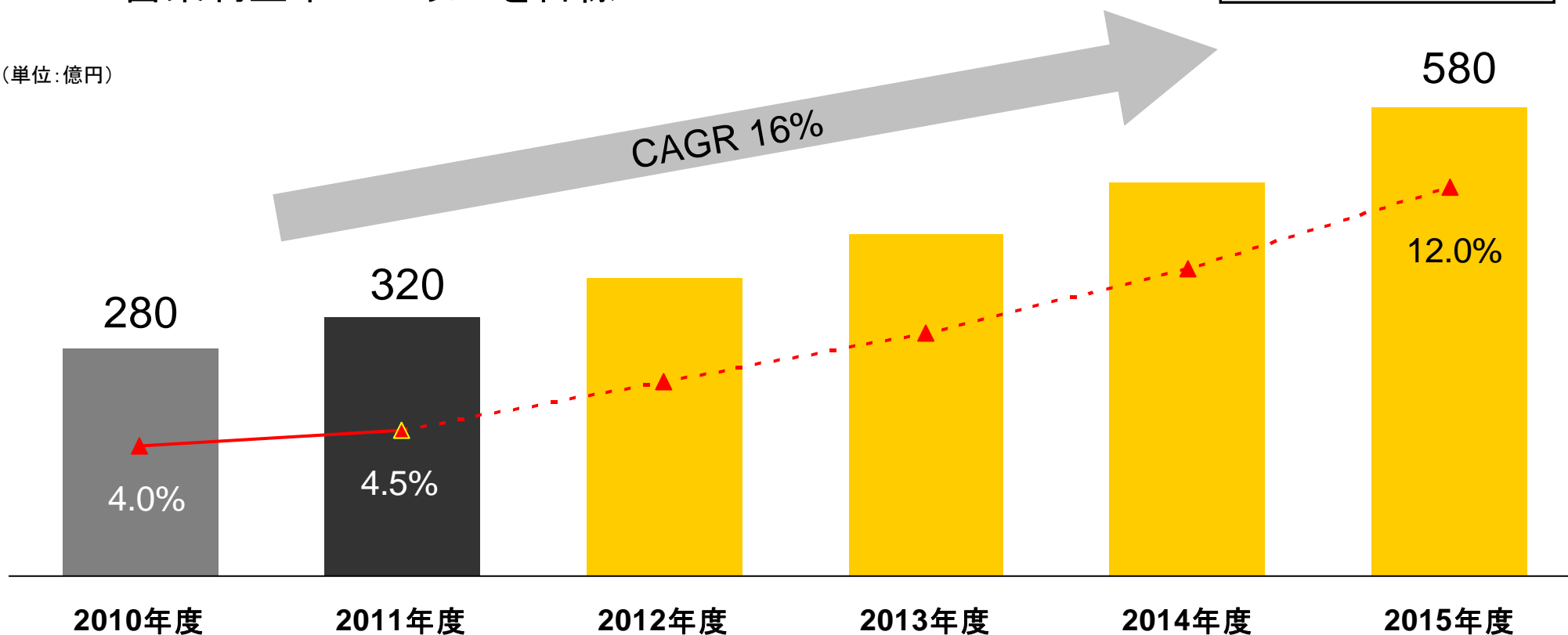
キトーがグローバルNo.1のホイストメーカーになるために、今後の5年間は事業規模拡大の大きなチャンスである。日本発の海外事業拡大から、世界各地のリソースを活用した事業拡大へと転換していく

中期利益計画（2011年度～2015年度）

- オーガニック成長による売上高580億円を達成
- 営業利益率12%以上を目標

棒グラフ:売上高
線グラフ:営業利益率

(単位:億円)

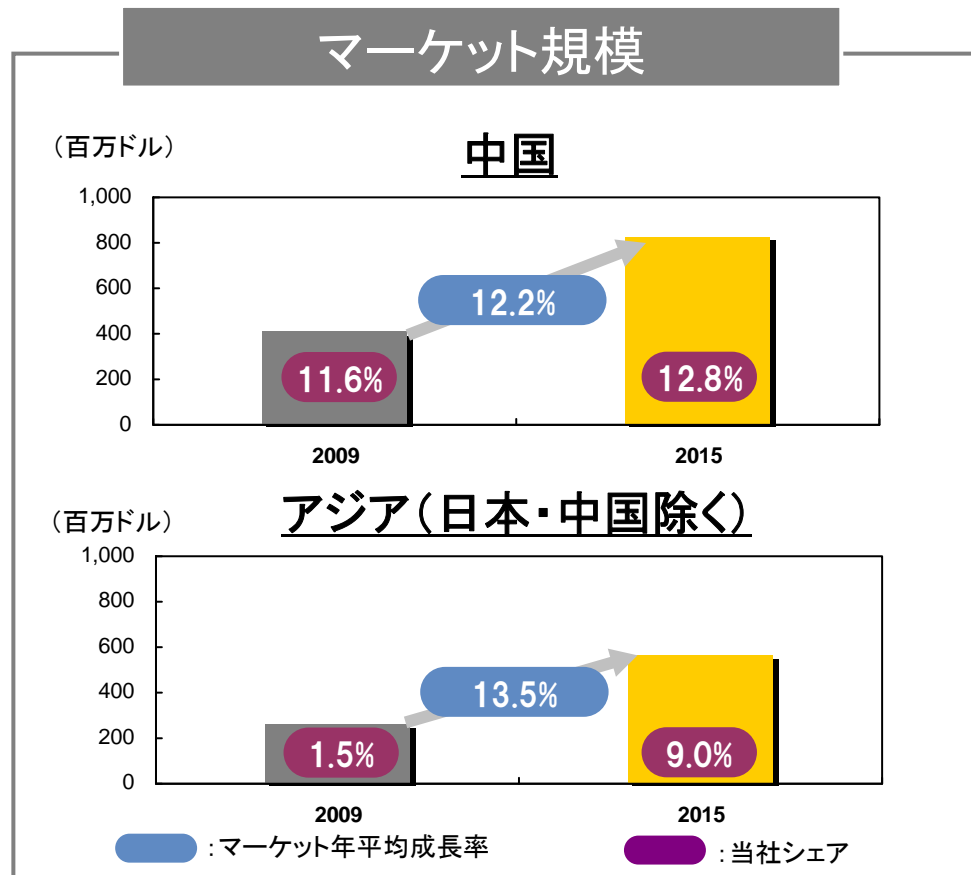


設備投資計画

2011～2015年度 約100億円

地域戦略 ～アジアに経営資源を積極投下～

- 市場成長機会を確実にキャッチ
- 生産能力の増強を推進するとともに、クレーンシステムの拡充を図る



中国

～生産能力の増強～

- 更なる需要の増加に対応
- グローバル戦略製品の拠点として拡充
- ロープホイスト生産量の推移



アジア

～事業ネットワークの拡充～

- インド、タイ、インドネシア、ベトナム等をターゲット
- 販売・製造拠点の拡充
- クレーンシステム事業の強化

生産戦略～グローバル生産体制の確立～

- 日本・中国・北米・アジアにおける四極の生産体制を充実させる
- グローバル生産体制確立により、リスク分散およびコスト分散を図る

グローバル生産体制

消費地

消費地近傍での最終組立

アジア

- クレーン製造拠点を拡充
- 既存拠点(インド、タイ、フィリピン)を有機的に結合

中国

- ロープホイストの生産拠点
- 他工場への部品供給拠点

日本

- グループのマザーファクトリー
- 各拠点の指導、スキル育成ならびに開発体制の充実

米州

- ノックダウン機能の拡充



*For the Global
Next Stage*

KITO group global unified slogan

常にお客様の期待を上回る価値を提供し続け、市場におけるキトーブランドの価値を最大化し、「真のグローバルNo. 1のホイストメーカー」を目指します。

参考資料

会社概要

商号	株式会社キトー	英語表記：KITO CORPORATION
創業	1932年11月	
本社	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000番地	
上市	2007年8月9日（東京証券取引所市場第1部 証券コード：6409）	
代表者	代表取締役社長 鬼頭 芳雄	
事業内容	巻上機(ホイスト)及びクレーン等の製造販売事業	
従業員	【連結】 1,720名 【単体】 651名	
関連会社	連結子会社14社	
資本金	3,976百万円	
発行済株式数	135,241株（自己株式6,523株含む、株主数：9,291名）	

— 主要株主 —

	株主名	所有株式数	議決権比率
1	CBLDN KONECRANES FINANCE	29,750	23.11%
2	日本マスタートラスト信託銀行	5,575	4.33%
3	CREDIT SUISSE SECURITIES(USA) LLC-SPCI. FOR EXCL. BENE	4,142	3.22%
4	鬼頭 芳雄	4,009	3.11%
5	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,491	2.71%
6	株式会社三井住友銀行	3,352	2.60%
7	BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG	2,355	1.83%
8	キトーオーナーシップ持株会	2,283	1.77%
9	日本生命保険相互会社	2,000	1.55%
10	日本トラスティサービス信託銀行株式会社	1,812	1.41%

※ 各データは2011年3月末現在。

取扱製品

取扱製品の分類		手動製品	電動製品	クレーン、その他
標準製品	顧客の一般的なニーズに対応した規格製品	 手動チェーンブロック  レバーブロック	 電気チェーンブロック  ロープホイスト	 サドル・クレーンコンポーネント  スリング製品
特殊製品	顧客の様々なニーズに合わせてオリジナル設計・制作した製品	 手動チェーンブロック(100t)	 ライトクレーン  天井走行クレーン	 システムクレーン  マニピュレータ
その他	アフターサービス等	各種部品の提供、メンテナンス等		
売上シェア: 73%				
売上シェア: 19%				
売上シェア: 8%				

 = 当社の主要製品

多様なニーズに応える製品展開

- 国内外の多様な産業分野に製品を提供。
- 顧客ニーズに俊敏に対応、国内・中国・米国で高いシェア。



グローバルネットワーク

当社海外グループ子会社及び50カ国以上に渡る販売代理店ネットワーク

